会員リレートーク Vol.51

自然と人、人と人とをつなぐ場づくり

公益財団法人キープ協会

団体の紹介

公益財団法人キープ協会（以下、キープ協会）は、アメリカ人のポール・ラッシュによって、戦後日本の新しい農村コミュニティのモデルを目指して、1936（昭和31）年に設立されました。ジャージー牛を導入した高冷地農業の実践や、宿泊研修施設・清泉寮の運営等と並行して、1984（昭和59）年より、八ヶ岳南麓・清里高原の豊かな自然を活かした様々な環境教育事業を展開しています。この稿では主に、山梨県内に拠点を置く企業等と、近年協働している環境教育事業についてご紹介します。

活動内容

① サントリー「水育」森と水の学校

北杜市白州町にミネラルウォーターの工場を置くサントリーが主催する「森と水の学校」に、2005年の事業開始以来、20年にわたって、現地の協力団体という立場で、企画や運営をサポートしています。小学生とその保護者を対象にした自然体験プログラムで、生き物や土の観察などを通して、水の大切さや、水を育む森や自然の大切さを伝えています。



専門スタッフによる環境教育プログラム



心身をととのえる森林でのリトリート体験

② 森林での「リトリート」体験

日常生活から一時的に離れて心身の癒しを得る「リトリート」と呼ばれる体験が、従業員の健康維持・増進の観点から注目されています。キープ協会では約20年前から、心療内科医ら専門家の協力を得ながら、森林でのリトリート体験の提供をはじめ、森林が心身にもたらす様々な効果を検証してきました。現在は、県内の大型病院の職員研修をはじめ、企業や学校など様々な団体にご利用いただいています。

③ コミュニケーション促進

コミュニケーション促進やチーム力の向上を目的とした社員研修で、キープ協会の自然体験プログラムを取り入れる企業も増えています。自然物を用いた造形から、遊歩道の整備といった作業体験までグループで楽しく取り組める様々なプログラムを揃えて、研修の目的や対象に応じたオーダーメイドの内容で提供しています。これからも、自然と人、人と人とをつなぐ場を多く創出できるよう、また生物多様性保全や地球温暖化防止といった課題に対して人々がアクションするきっかけを得ていただけるよう、環境教育の実践を続けていきます。



コミュニケーションの支援も近年増えている

キープ協会では、自然という場で人と人とをつなぐ体験プログラムにも長く取り組んでいます。

きれい甲斐

No.105 AUGUST 2025

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県自然共生推進課内
TEL.055-223-1634 FAX.055-223-1781 ✉shizen@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ パートナーシップやまなし 検索
発行責任者●企画委員長 志 村 宏 司

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています

令和7年度定期総会を開催

令和7年度定期総会は、対面開催としました。

役員・企画委員

会長	坂本	政彦	（株）坂本建運		
副会長	渡辺	裕一	山梨県ボランティア協会	中澤	昭 山梨県農業協同組合中央会
	窪田	清	日本労働組合総連合会山梨県連合会	越石	寛 山梨県商工会議所連合会
	野口	英一	（公財）富士山をきれいにする会		
監事	浅野	正一	（一社）山梨県建設業協会	保坂	武 （一社）山梨県森林協会
企画委員長	黒田	光秀	クロダ（株）		
企画委員	齋藤	正信	山梨県商工会連合会	太刀川昭二	（一社）山梨県労働者福祉協会
	横山	浩二	環境に関する企業連絡協議会	奥山	久幸 山梨県自然保護教育振興会
	伊藤	祐寛	（一社）山梨県専修学校各種学校協会	保坂	重機 （一社）山梨県老人クラブ連合会
	笹本	稔	（公社）山梨県私学教育振興会	本田万壽男	（一社）山梨県消費者市民社会推進協議会
	小澤	浩二	生活協同組合パルシステム山梨 長野		

令和7年度事業計画

1．活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

（1）広報誌の発行
- 会員向けの会報的なものとし、年４回の発行を基本とします。
- 会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
- 会員紹介や会員の特徴のある活動をＰＲし、環境活動を広めていきます。

（2）会員の募集
- 積極的な広報活動を行い、より一層の会員の拡大（募集）を図ります。

（3）ネットワークづくりのための検討
- 会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての検討を行います。

2．３R・温暖化防止対策実践活動推進のための事業

- エコライフお絵かき・川柳コンテストの開催
  省エネ、マイバッグ、マイはし、３Ｒなどの「エコライフ」を題材として、県内の幼稚園児や保育園児、小学生、中学生を対象とした「お絵かきコンテスト」を、全年齢層を対象とした「川柳コンテスト」を開催することにより、大人だけでなく子どもたちを巻き込んだ普及啓発活動を展開し、３Ｒ及び温暖化防止対策実践活動の推進を図ります。
- ３Ｒ推進、地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムの開催
  県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するネットワークフォーラムを開催します。

3．その他

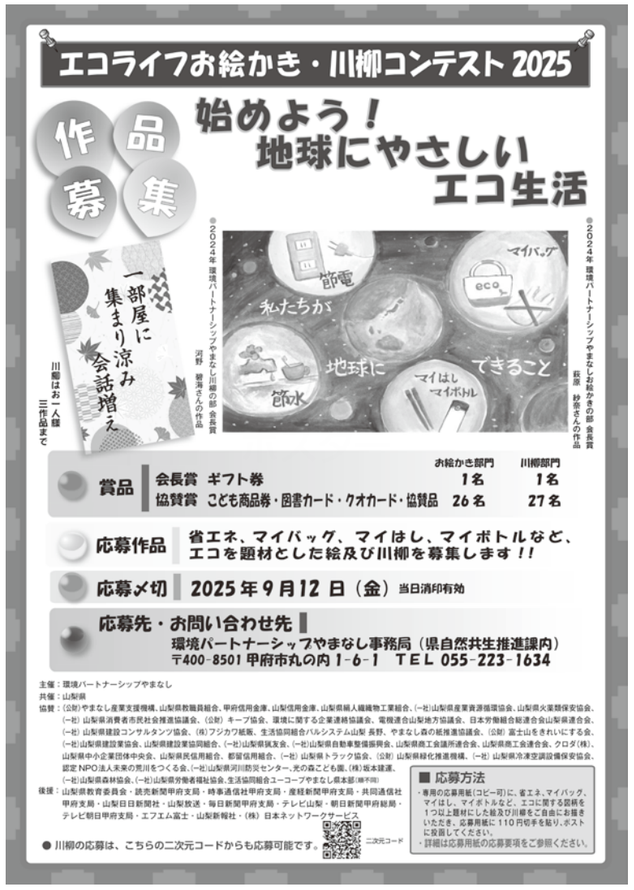
- 行政課題解決のための協働事業
- 県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充

「“人と環境にやさしい交通”県民運動」、「ボランティア・ＮＰＯ活動推進月間」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

「エコライフお絵かき・川柳コンテスト2025」について

このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒、県内在住又は県内勤務者から省エネ、マイバッグ・マイはし・マイボトルなどエコに関する絵及び川柳を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。

コンテストについては環境パートナーシップやまなしホームページでもご案内しています。
https://www.pref.yamanashi.jp/shizen/partnership.html



発　表　審査結果は、環境パートナーシップやまなしのホームページに掲載します。

問い合せ先　〒400-8501　甲府市丸の内1-6-1
環境パートナーシップやまなし事務局（県自然共生推進課内）
TEL　055-223-1634

県からの報告

「環境フォーラムinやまなし」が開催されました

山梨県では、5月30日から6月30日を「やまなし環境月間」と設定し、地球規模の環境問題や私達が身近にできる行動等を知ってもらい、環境保全への活動が日常生活の中に定着していくことを目的に環境フォーラムを開催しています。

今年度は、6月8日（日）に山梨県防災新館オープンスクエアで「マジックを通じて、地球環境・エコロジー・SDGsの入り口へ」をテーマに、一般向けに講演会を行いました。

プロマジシャンの環境エコ講師であるミヤモ氏の講演会は、環境について楽しく学べるものとなりました。参加者の方々にとって環境について改めて考えるきっかけとなったことかと思います。



来場者の方々に廃棄物の削減や再利用など、エコロジーの大切さについて、マジックやクイズを交えてわかりやすく伝えていただきました。



御参加いただいた皆様からは、「地球環境が悪化の一途をたどっていることは本当に心配であり、現状を子どもたちにも伝えていきたい」や「ごみの減量、特にプラスチックごみの削減のためにライフスタイルを見直したい」といった感想が寄せられ、環境への関心をさらに深めていただく機会となりました。

